

自己評価及び外部評価結果

1. 事業所概要

事業所番号	3190200265	実施年度	令和7年度
法人名	社会福祉法人真誠会		
事業所名	グループホーム椿庵・桜庵		
所在地	(683 - 0103) 米子市和田町 1722 番地		
サービス種別	■認知症対応型共同生活介護	定員	計 18 名
	■介護予防認知症対応型共同生活介護	ユニット数	2 ユニット
自己評価作成日	令和8年3月1日	評価結果 市町村受理日	令和8年3月10日

2. 運営推進会議開催日時・場所

日 時	令和7年 5.16 7.18 9.19 11.21 令和8年 1.16 3.27 16時～17時	場 所	弓浜支え愛センター
-----	---	-----	-----------

3. 運営推進会議メンバー

区分	委員分野・主な役職等	人 数
委員	利用者又は利用者の家族	2 人
	地域住民の代表者	6 人
	当該サービスに知見を有する者	2 人
	市の職員又は地域包括支援センターの職員	2 人
事務局	管理者	1 人
	計画作成担当者	1 人
	介護従業者	人

4. 事業所の特徴

社会福祉法人真誠会が運営する「グループホーム椿庵・桜庵」は、平成25年10月の開所以来、米子市和田町の地域コミュニティに深く根ざした認知症ケアを目標として実践してまいりました。当事業所は、単なる生活支援の場に留まらず、利用者が住み慣れた地域で一住民としての尊厳を保ち、役割を持ち続けられる「地域共生」の象徴的拠点を目指しています。

当事業所の最大の強みは、綿作りや餅つきといった伝統活動を通じた地域住民との多世代交流、そして隣接する看護小規模多機能型居宅介護「ふる里」との密接な医療連携にあります。これらの有形無形の資産を統合し、「家族と地域が共に支え合う認知症ケア」というビジョンを具現化するための取り組みを続けてまいります。

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<input type="checkbox"/> A. 十分にできている <input type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	毎朝、全職員で事業所理念を唱和し、その日の支援における心構えを再確認しています。特に「地域住民としての普通の生活」という視点を重視し、職員自身が利用者と同じ地域を生きる隣人としての意識を持って接することで、ノーマライゼーションに基づいた生活支援を目指しています。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<input type="checkbox"/> A. 十分にできている <input type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	地域住民との相互理解を深めるための「戦略的接点」として、主に以下の活動を展開しています。伝統文化の継承(綿作り):和田町の特産である「和田綿(綿作り)」の活動に地域住民と共に参加しています。交流行事の定例化として「餅つき大会」や「歌声サロン」を通じ、近隣の保育園・小学校やボランティア団体との「顔の見える関係」を構築しています。	今後も保育園、小学校、地域住民との「顔の見える関係」を構築するための定期的な交流プラットフォームとして機能させてほしい		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input type="checkbox"/> A. 十分にできている <input type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	参加メンバーは利用者・家族、自治連合会、社会福祉協議会、交番、弓浜包括支援センター、米子市職員にご参加いただき、活動報告に対し、多角的な視点から要望を受領し、即座にサービスへ反映させる「評価の循環」を確立しています。	会議で得られた指摘や要望を現場にフィードバックし、次の会議で改善結果を報告することを目標として、今後も透明性の高い経営を実現してほしい。		
4	市町村との連携	市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	<input type="checkbox"/> A. 十分にできている <input type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	市の担当者へ運営推進会議において、取り組みや課題について報告しています。行政行事への参画として「全国キス釣り大会」の表彰式への参加など、米子市のイベントに積極的に関わることで、事業所の開かれた姿勢を地域に示しています。弓浜包括支援センターとは常に地域行事や運営会議等で連絡や相談をしています	市主催の「全国キス釣り大会」表彰式への参画など、ほかにも行政行事への主体的な関与を続けることが望まれる		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<input type="checkbox"/> A. 十分にできている <input type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	職員は法人研修で身体拘束の弊害、具体的な行為について理解しています。3か月に1回、法人内の事例検討「身体拘束適正化検討小委員会」を行い、拘束をしないケアの質を向上させています。転倒防止用のコルマットを使用する場合でも、安易な導入を避け、ケアプランに反映させるプロセスを行っています。		<input type="checkbox"/> A. 十分にできている <input type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<input type="checkbox"/> A. 十分にできている <input type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	高齢者虐待防止法の全体研修に参加し学習、および定期的な虐待チェック表を行い、不適切な言動が身体拘束や虐待に繋がるリスクを全職員が深く理解する体制を維持しています。		<input type="checkbox"/> A. 十分にできている <input type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	成年後見制度や日常生活自立支援事業について学習機会を設け、必要に応じて関係機関「地域包括等」へ相談できる体制を整えています			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約の締結、解約、改定等の際は分かりやすい言葉で具体的にゆっくりと説明を行なっています。ご利用者やご家族の不安や疑問が出やすいような雰囲気を作り、納得いただけるように心がけています			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会や定期的な家族交流会、運営会議等で意見や要望を聞くとともに、ホームの玄関に意見箱を設置し、意見、要望を表しやすいよう努めています。満足度調査の実施、及び月1回の家族へのお便りについて、個々の担当により情報量の差が出ないように、フォーマットの共通作成を行っています		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者は日々のミーティング、職員との個別面談、連絡ノートやほのぼのの記録の活用など、職員の意見や提案を積極的に聞き、運営に反映しています。月に一度の職場会は事前に議題を募集して会議を進めています。未参加者も議事録、事務連絡(パソコン)で情報共有しています			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者は職員の状況を把握し、その実績を定期的、随時に評価し、代表者に報告しています。管理者は職員のいいところ、頑張っているところを見つけてやりがいに繋がるようしています。職員満足度調査を実施し、結果に対し改善策を立案しています。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年間教育計画に基づき、内部研修や外部勉強会への参加を支援しています。感染症対策等では動画やTV電話を活用し、最新の知見を効率的に取得しています。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	同法人の「青松庵」との人事交流を実施し、相互訪問を通じてケアの視点を広げています。法人独自の教則本を用いた勉強会や資格取得支援制度により、専門職としての成長を組織がバックアップしています。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員はご本人とご家族の関係を第一に考え、行事をはじめとした一緒に楽しく過ごせる機会を作っていたるように話しをしています。訪問時や電話、毎月の便りなどでも随時状況を伝えています			

15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている <input type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	「生活歴シート」を用いて過去の習慣を把握し、馴染みの喫茶店利用や近隣の友人への訪問、盆・正月の帰省支援など、その人にとっての「当たり前の日常」を継続できるよう支援しています。かつ長年使用してきた家具や布団、家族の写真、自作の作品などを居室に持ち込み、精神的な安寧を図っています。	入居による生活の断絶は、認知症の進行を加速させるリスクと思うので、今後も入居者のアイデンティティを維持し、精神的安寧を担保してほしい			
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント								
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている <input type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	ご本人やご家族から聞き取った生活歴や希望など情報を把握するとともに、アセスメントに記載し、日々の言動や表情などを見逃さず、電子カルテを活用し職員間で共有を行っています。生活歴や性格を考え、本人にとってよいケアになるように検討しています				
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている <input type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	理学療法士(PT)と連携し、3か月に1度の頻度で「生活機能向上計画」を策定しています。日々の生活動作の中にリハビリ的要素を組み込むことで、ADL(日常生活動作)の維持を図ります。主治医、看護師、歯科衛生士、法人の薬剤師と適宜情報交換を行い、身体状況や薬効の確認、口腔ケアの徹底などを通じて、医療・生活の両面から支えています。しかしお歳とともに、要介護度は重度化傾向にあることは否めません。	身体機能の維持は大変だと思うが、利用者の生活機能を最大限に維持し、QOLを高めるようにしてほしい	<input type="checkbox"/> A. 十分にできている <input type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない		
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている <input type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	毎日の実践の結果や気づきを個別に記録し、毎朝のミーティングで共有し、モニタリングで評価を行って計画を見直しています。チェック表で身体状況・水分・注意点を確認し、実践に役立てています		<input type="checkbox"/> A. 十分にできている <input type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない		
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている <input type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	体調不良など必要時にはご家族も一緒にかかりつけ医に受診の送迎を行う。家族の冠婚葬祭時に現地へお連れするなど、入居者様やご家族の希望になるべく柔軟に対応できるようにしています。隣接する「看護小規模多機能型居宅介護ふる里」と密に連携しており、これにより、医療的視点を用いた異常の早期発見や、重度化予防に向けた迅速な対応が可能となっています。	急な体調不良や家庭の事情は大変感謝されると思うので、制度の枠に捉われない柔軟な対応力を期待している			
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<input type="checkbox"/> A. 十分にできている <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	ご家族や友人の方には、なるべく本人と一緒に外へ出かけて楽しい時間を過ごしていただくことを勧めています。なじみの美容院や喫茶店へご家族と行かれたり、友人と外食へ出かけたりされる方もあります。「和田地域ケア会議」や公民館活動、いきいきサロンへ積極的に参画し、地域包括ケアシステムの一翼を担っています。	和田の地域にどんどん出てもらって、施設入居者から「地域の一市民」としての取り組みを行ってほしい			
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている <input type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	かかりつけ医はご本人、ご家族の意向を尊重しています。主治医とは受診表を作成し報告を行い、連携を図っています。また、週1回の訪問看護により医療面のサポートを受け訪問歯科診療、リハビリ訪問(PT)により体調管理を行っています				

22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入退院時には詳細な「連絡票」を作成し、病院との情報共有を徹底します。入院中も職員が面会や電話連絡を継続し、早期退院と復帰を支援します。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時より終末期の意向を確認し、指針に基づいた同意書を作成しています。住み慣れた場所で最期まで過ごせる体制を整え、職員間での共通認識を徹底しています。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全員が「救急蘇生訓練」および「嘔吐物処理シミュレーション」を定期的実施しています。特に夜間の少人数体制を想定した緊急対応訓練を繰り返すことで、24時間365日の安全をハード・ソフトの両面から確保しています。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回の消防避難訓練を自治会と合同で実施しています。緊急時には「リレー電話」が作動し、地域住民が即座に応援に駆けつける体制が構築されています。	災害時における地域住民の「共助」体制は必要なので今後も取り組んでほしい	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	スピーチロックの勉強会を行い、声かけは親しみの中にも人格を尊重した丁寧な言葉使いをすることを全員が心掛けています。徘徊や帰宅願望のある利用者への言葉かけや見守り方について職員間で対応を統一し、利用者を尊重した関わりができるよう心がけています。好きなことや嫌いなもの、大切にしていることなどプライバシーを尊重した対応を心がけています		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	常にご本人の意思を確認して尊重して、時間がかかっても自分のペースで生活できるように見守っています。入浴や外出などは職員の都合を優先しないように希望を聞いています			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	カロリー計算されたメニューの盛り付けや準備、片付けに利用者が得意な範囲で参加します。季節の食材を取り入れ、職員も協力することで、単なる栄養摂取ではない「団らんの場」を創出しています。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前に食事量や水分摂取量、好き嫌いなどをお聞きして無理なく必要量が摂れるように工夫しています。睡眠や運動など生活のリズムを整え、食事や水分摂取が進むようにしています			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	口腔ケアは毎食後ひとりひとりの状況に応じて行なっています。口腔の状態を把握し、家族に報告して歯科受診を勧め、通院が困難な方は訪問歯科診療の情報提供をしています			A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	チェック表による排泄パターンの把握を徹底しています。安易なパッド使用に頼らず、個々のタイミングに合わせたトイレ誘導を行うことで、オムツの削減と排泄の自立を最大限支援します。			A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の効率を優先した曜日・時間固定ではなく、本人の希望する時間や温度設定を尊重します。気が向かない時は無理強いせず、時間を置いてから再度声をかけるなど、個人のペースに合わせた柔軟な対応を行います。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ICT 機器「眠りスキャン」を活用し、個々の睡眠パターンを精密に把握しています。就寝前の温かい飲み物や対話の時間を設けることで、夜間の落ち着きと安心できる入眠をサポートし、転倒リスクの軽減とスタッフの夜間業務効率化を両立させています。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	内服薬は、全員が薬効について理解し、状況に応じた服薬支援をしています。看護師や法人の薬剤師、かかりつけ薬局に適宜相談、情報交換を行っています			A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	調理、清掃、畑仕事、花壇の手入れといった「役割」を持つこと目的としています。「和田ももん(綿作り)」の伝統作業や、ボランティアを招いての「歌声サロン」での交流は、社会的一員としての自己を再確認する機会となります。	役割を持つことは、認知症の方にとって良いと思うので、今後も取り組んでほしい		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	なるべくその日の希望に沿って戸外に出掛けていただけるように散歩などを行っています。行事や外食にも出掛けています。ご家族と温泉に行ったり、自宅に帰って家の掃除をしたりされる方もあります	感染症予防のため、外出が減少しているが、行事を活用し馴染みの関係継続の支援に努めてもらいたい		

		人々と協力しながら出かけられるように支援している					
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	金銭管理については、ご家族と相談し、自分で財布にお金を所持されている方もあります			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族に電話したいときは、職員が間に入り、電話で話しができるように支援しています。ポストまで手紙を出しに行くこともあります			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ユニット間の壁を一部撤去し、交流を促進するとともに、スタッフの相互協力体制を強化しています。ブラインドや障子による採光の調節、心地よい音楽、生活音への配慮、季節を感じる飾り付けを行い、認知症の方が混乱せず落ち着いて過ごせる「居心地の良さ」を追求しています。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40		本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者ご本人やご家族より、意向を踏まえたくうえで援助の方針を立案しています。意向や希望に変更がないか、適宜確認しながらサービスを提供しています			
41	本人主体の暮らし	本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴、生活習慣などを、アセスメントシートや生活歴シートを使用してお本人やご家族から聴取して、生活支援の方法を考えサービス提供しています			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎朝の体調確認を行い、週1回の提携している訪問看護事業所の状態把握を行い、体調不良時には主治医と相談し対応ができる体制を築いています		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食堂にはテーブルが3卓あり、そのときの気分で好きなところに座っていただいたり、一人になりたい時はソファに座ったり、畳に寝転んだり思い思いの場所で過ごしていただけるようにしています。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	馴染みの家具や布団、ベッドを持ってきていただきそれらを使用されています。また、ご家族の写真や好きな本、自分の作った作品を飾っておられる方など、それぞれに居心地よく過ごせるようにしています			A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに外出できる機会をつくり支援しています。公民館祭や綿栽培の取り組み、いきいきサロンなど外出の機会を作っています	地域の行事に参加することは、利用者の社会参加を促すだけでなく、地域住民の「認知症への理解」を深めると思うので継続してほしい		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	過介護にならないようアセスメントシートを活用し、状態を把握し例えば調理や清掃、歌声サロンなどレクリエーションも含めて実施できています。徐々にできなくなることについてもお茶入れだけしてもらうなど検討を行っています			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ソファや畳の場所などがあり、ひとりの時間を過ごすことや利用者同士、ご家族と語らうことができる落ち着いた空間となっています。新聞やカレンダー、時計、今日の日付など見やすい位置に設置、バルコニーへ花の鉢植えを置き、気軽に一人で確認できるなど工夫しています			A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外出による交流の他に、月に1回の和田地区の紙芝居朗読ボランティアの実施や歌声サロンなど、定期的にボランティアの皆さんにお越しいただいております。その後一緒にお茶の時間を設け交流を図っています。ほかにもサロン活動や綿作り、地域交流餅つき大会などで保育園や小学校の生徒と交流しています	地域での取り組みが行われており素晴らしいと思う。感染の事もあり難しいと思うが今後も継続してもらいたい		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくるができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症による症状によりご自宅での生活が難しい方にご入所いただき、自宅に馴染みの家具やベッドがあれば持ち込みを依頼して居室に設置し、居心地よく過ごせるよう工夫をしています。感染対策においては法人の感染対策委員会の元、適切な対応を行っており、行事を再開。多数の地域ボランティアの方に参加してもらっています	椿庵桜庵は和田に一つしかない GH で大変重要だと思っている。今後も行事や地域ボランティアの受け入れを実現させてほしい		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない